

序

この報告書は、平成16年11月に実施した「滋賀の健康・栄養マップ」調査の結果をまとめたものです。

「滋賀の健康・栄養マップ」調査は、昭和61年から県民の健康状態や栄養素等摂取状況を把握し、問題点を見出すことにより、地域に応じた健康づくりや栄養改善対策を推進する基礎資料とするために5年に1度実施しており、今回は5回目となります。

県においては、平成12年3月に県民の健康づくり計画として「健康いきいき21 - 健康しが推進プラン - 」を策定し、11領域でそれぞれ目標を定めて取り組みをすすめています。

なかでも、「栄養・食生活」については、健康づくりの要となるものですが、今回の食物摂取状況調査結果では、20代、30代の若い世代におけるカルシウムや鉄の摂取不足が見られる一方、脂肪エネルギー比率が適正比率を超えていること、また、野菜の摂取量が全体的に不足気味で特に20～40歳代で不足が目立ちました。

また、生活状況調査からは、肥満者の割合の増加、20～30歳代男性の朝食欠食習慣者の増加、健康づくりのための運動実施者の減少がみられ、健康づくりへの関心は高い状況が伺えますが、具体的実践には結びついていないというような現状が見られました。

これらの結果を基礎資料とし、「健康いきいき21 - 健康しが推進プラン - 」の中間評価を行い、今後の目標を明確にし、県民が主体的に生活習慣病予防や健康づくりを実践できるよう普及啓発や環境づくりに取り組んでいきます。

終わりに、本調査の実施にあたり御協力いただきました調査対象者の皆様および関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

平成18年2月

滋賀県健康福祉部長 澤田 史朗